

第2回 京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：平成25年10月11日（金） 午前10時00分～12時00分

場所：京丹波町中央公民館3階 大会議室

1. 開会

2. 協議事項

(1) ニーズ調査について

会 長：子ども・子育てに関する審議が国政レベルでも始まりましたので、これについても慎重にご審議いただき、京丹波町のプランがよりよいものになりますようご協力願いたい。前回からの課題になっているニーズ調査について、事務局でとりまとめておりますのでご説明願いたい。

【事務局による説明】

会 長：スケジュール的には本日内容を決めてしまうことになる。事務局としては、大きく内容を変更したくないということになるであろうが、内容について何か意見や気が付いたことはないか。

委 員：設問の4について、事実婚であるという表現が戸籍上の配偶者であるのか、配偶者でない事実婚であるのか、事実婚であるという調査が必要なのかどうか。

⇒事務局：京都府のほうで加えた項目であるため、その言葉が入っている。

会 長：籍を入れていないけれども、同居して子育てしているかどうかを聞きたいということなのだが、事実婚という質問は必要か。事務局としては、京都府が独自項目として入れているのでこのままいきたいという提案であるが、いかがか。我々のところでは認識することができるが、配布された方の立場になって考えたらどうかというのが重要なポイントである。この問題を含めていくつか問題点を出してもらって、後でまた事務局で検討いただくのがよいかと思う。私が気になったのは、就学前・小学生用双方の間に☆印が付いている箇所があるが、我々が見るときは非常にわかりやすいが実際配布するときに必要なのか。

⇒事務局：配布時にはすべて削除する。

会 長：あくまで会議用ということであれば了解した。

委 員：問6と問7の関係がよくわからない。問6の子育てに関して少し不安を感じる等観点が違うのかもしれないが、不安に関する設問は問7にあるのでその辺りの関係性はどのようになっているのか。

⇒事務局：こちらも府で設定された設問であり、府に報告せねばならないことから事務局としてはこのままにしておきたいと思っている。

会 長：事務局としては、お許しいただきたいということである。確かに違和感はあるが、どうか。

⇒事務局：その項目についてのご意見は、府のほうに報告させていただく。

会 長：言葉の言い回し等は府に準じて行うが、意見としては府にあげるということになる。委員の中にもこの調査票が届く方がいらっしやると思うので、自分が回答する立場に立ってご意見いただきたい。内容は盛りだくさんであるので、全部回答するとなるとかなり時間も費やすかと思うが、事務局が回答した感じはいかがなものか。

⇒事務局：15分～20分を要した。細かく答えるともっと時間がかかるかと思う。

委員：調査内容に関しては、これ以上絞ることは難しいと思うが、答える側として、この調査が何のために行われるのかがわかる資料をつけていただき、協力しようと思うようにしてほしい。

会長：貴重なご意見である。

委員：ニーズ調査があるということがあらかじめわかっているならば、回答者側の負担になると思う。子ども・子育て3法が成立したことを知っている人は少ないので、前回配布いただいた資料等（制度説明のパンフ）を同封したらよいのではないかと。その他の設問については、前回に比べ答えやすくなったと思う。病時保育について、過去1年で何日休んだかと問われても、それを数えるのが手間である。どのように対応したかという設問で、私はファミリー・サポート・センターに預けようとしたが、病気の子は預かれないと言われたので、この項目は不要ではないか。また、病時病後時保育を何日利用したいかと聞かれても、子どもが何日休むかもわからない。過去1年間を振り返って、例えば10日休んだ内の何日間は預かっていただきたいか、そのような答え方になると答えやすくなると思う。

会長：一つは、アンケートが何のために行われるのかがわかる資料があれば一生懸命答えようという気持ちになるだろうという意見で、その辺りは工夫していただきたいということ。もう一つは、具体的な日数を答える設問に対して、何を連想して答えればよいかかわからないというご指摘でありましたが、そのあたりについて事務局として何か案はないか。また、日数を答えるには何か条件付けがないと非常に答えづらいというのは、確かにもっともな意見と思うがいかがか。

⇒事務局：口頭で説明しないとわかりづらいという点は改善すべきなので、わかりやすくするための説明を付け加えさせていただく。

委員：意見のあったファミリー・サポート・センターは消しておいた方がよいのではないかと。

⇒事務局：削除したい。

会長：内容に関しては持ち帰っていただき、気付いたら事務局にお伝えするという事で、一旦この方向でご了解いただくことを前提としたい。調査をする時期と方法について、先ほど事務局から提案があったのは、就学前と小学生調査の両方行いたいということに異論はないか。両方のお子さんを持つ保護者には2通届きますし、さらに複数のお子さんを持つ保護者にはその分が届く。お子さんが3人いたら3人分書かなければならないため、それらを含めて保護者の方にはご負担いただくことになるが、いかがか。学校の先生にお尋ねする方がよいかも知れないがどうか。

委員：経路するだけのため、学校としての負担はないが、たくさんのお子さんを持つ保護者は負担になる。就学前と小学生となると若干思いは違うであろうし、いろんな関係があるので兄弟（姉妹）関係が複数になっても大丈夫と思う。

委員：それぞれの子どもに対して答えてもらいたいし、子どもが二人でも別に支障はないと思う。

委員：大変だとは思いますが、国や府が関係しているのでそのあたりは仕方がないと思う。

会長：3名の先生方から意見をいただいたが、国からと、府からというものがあるのであれば仕方がないし、悉皆でやるのであればそれしか方法がないということでまとめさせていただく。それでよろしいか。ご意見がないようなので、次に配布・回収について事務局からご説明願いたい。

【事務局による説明】

会 長：学校・園の子どもに関しては学校・園での配布・回収とし、その他の0歳児から5歳児までは郵送で配布・回収したいということであるが、いかがか。ご意見がないようなので、調査時期について事務局案を説明願いたい。

【事務局による説明】

会 長：11月上旬に配布し、中旬に回収、国への報告が12月ですのでスピード感を持ってやらなければならないということである。決める前に何か意見はないか。

委 員：小学生は700名程度で、就学前は何名ほどなのか。どちらかというとなら就学前を対象とした調査だと思うが。

会 長：そもそも小学生にアンケートをとって、計画にどのように反映できるのか。そのあたりの見通しはどうか。

⇒事務局：小学生については放課後児童クラブの意向を把握したい。また、今後の子育て施策に活かせるよう、小学生の保護者の意見も取り入れていきたい。

会 長：これらのご意見も重要なポイントであり、アンケートをせっかくとるのであれば、京丹波町として子ども・子育てを議論するにあたっては必要であるという事務局の意見であるが、そのあたりはどうか。

委 員：現状として、少子化になってきているので、周りの子どもと遊ぶことができない。そのことからしても、のびのび児童クラブは重要な役割を果たしている。施設設備などいろいろな課題があると思うので、子どもの居場所という点から重要となる。

会 長：今の意見については、小学生にも一定の配慮が必要であるという事務局案であると解釈できる。細かく見ると訂正しなければならない箇所があるかもしれないが、その他は事務局に個々にご意見願いたい。ご意見がなければそのままでもかまわないが、事務局としてはいつまでなら大丈夫か。

⇒事務局：連休明けくらいでお願いしたい。

会 長：15日を目安でお願いしたい。府への問い合わせ事項やアンケートの内容等に関しては、事務局と会長・副会長にお任せいただくことでお認めいただけるか。

各委員：意見なし

会 長：アンケートについては、その手順で進めさせていただく。次は、京丹波町の子育て施策について事務局より説明願いたい。

(2) 京丹波町における子育て支援施策について

【事務局による説明】

会 長：短時間で要点だけ説明いただいたが、京丹波町の子育て施策をアンケート結果からどうするかということを審議会で議論し、最終的に町長へ答申するにあたって、骨子となる部分をご説明いただいた。何かこの段階でご意見等があれば時間をとりたいと思うが、いかがか。今の説明で重要になってくるのは、重点プロジェクトとしてあげられている①②③という3点が、まずは今回の子育て支援の国の施策とリンクさせて取り組まなければならない。とりわけ、幼保一元化は予算措置を伴う事業であり、次回以降しっかりと議論していかなければならない。それとニーズ調査を行うのであれば、京丹波町の強み・弱みをきちんと

と出して議論していきたい。地域特性など、どのように活かして子育てを有利に展開するかといったところ、もっとこんなことをやれるのではといった意見が委員の方から出ることが事務局提案である。京丹波町の特質だと思うのは、子育て支援課と教育委員会が協力して一定の方向性を出そうとしていることである。そのため、この会議で今のような議論がきちんとできるかということが重要だと思う。何かこの段階でご質問やご意見はないか。また、次回までに事務局に調べてもらうことなどはないか。

ご意見等がなければ、アンケートの結果を踏まえ、どこからどのように検討していくのかという議論を次回にしていきたいと考えるので、次世代育成支援行動計画を読んできていただきたいと思う。

(3) その他

⇒事務局：次回の会議は1月23日に予定しているがどうか。

会 長：次回は1月23日、時間は未定ということで、事務局の方から早急に連絡願いたい。3月末までにはもう一回開催されることになる。

【副会長による本日の会議のとりまとめ】

閉会